

令和3年5月27日

浦添市長 松 本 哲 治 殿

浦添市観光振興審議会
会長 金 城 盛 彦

浦添市における観光振興について（答申）

平成31年2月28日付け浦経観第76号で浦添市観光振興審議会に諮問のあった浦添市観光振興計画について、別添のとおり答申いたします。

なお、この答申は、当審議会の審議を重ねる中で、浦添市観光のめざす姿である浦添市観光振興計画の進捗管理及び、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）蔓延、回復期の観光支援・復興計画（仮）の策定について考え方を取りまとめたものです。

貴職におかれましては、別添答申を踏まえ、観光施策に取り組んでいただくよう要望いたします。

別添：浦添市観光振興審議会答申

「浦添市観光振興計画の進捗及び観光支援・復興計画（仮）の策定について」

以上

浦添市観光振興審議会答申
「浦添市観光振興計画の進捗及び
観光支援・復興計画（仮）の策定について」

令和3年5月27日

浦添市観光振興審議会

浦添市観光振興審議会答申

はじめに

令和2年（暦年）沖縄県入域観光客統計概況によると令和2年（暦年）の観光客数は、373万6,600人と対前年比マイナス642万7,300人、率にしてマイナス63.2%と減少数、減少率ともに過去最大となっている。新型コロナウイルス感染症の影響により、沖縄県のみならず、日本、世界中の観光及び経済に深刻な影響を及ぼしている。

観光産業は、宿泊業や飲食業、交通業界など多くの業界に経済効果を及ぼす裾野が広い産業であるがゆえに、上述のような観光危機が起こると受ける影響も非常に大きなものとなる。本市においても例外なく、観光客数の激減により市内事業者は大きなダメージを受けており、打撃を受けた観光及び経済の回復については、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）蔓延、回復期に対応した観光が必要とされている。

浦添市観光振興計画の進捗管理については、本審議会で行うものとされており、PDCAサイクルのもと、各取組の進捗状況や目標達成状況等について客観的に評価を行う。

本答申は、審議会において議論を進めてきた同計画の進捗管理に関する内容と、策定時に想定していなかった新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響を踏まえ、今後の浦添観光の目指す姿、取り組む施策を示す「浦添観光支援・復興計画（仮称）」の策定について提言するものとする。

浦添市においては、本答申内容を踏まえ、今後の観光振興に係る施策立案や体制構築、事務の改善等を行い、浦添市の観光振興を推進していただきたい。

1. 浦添市観光振興計画の進捗管理について

浦添市観光振興計画に係る5つの基本方針に基づく、6つの戦略的重点施策について、令和2年12月末現在における事業担当課による「A：順調に進行している」「B：概ね進行している」「C：一部進行している」「D：進行しているとはいえない」「E：後退している」の5段階の自己評価と、専門部会及び審議会による進捗評価について以下のとおり示す。

重点施策1) 地域の歴史・文化・芸能の保存・活用

5つの関連プロジェクトのうち、「A評価」が1つ、「B評価」が2つ、「C評価」が2つと概ね進行していると評価しており、周遊ルート構築については、那覇市と連携し広域的に取り組んでいることは高く評価できるとした。

重点施策2) 施設を核とした賑わいの創出

2つの関連プロジェクトのうち、浦添前田駅周辺の観光交流拠点施設の賑わい創出は、「C評価」、本計画の重点エリアにも位置付けられている港川ステイツサイドタウンの賑わいの創出は、「B評価」となり、進行はしていると考ええる。浦添観光の拠点となる施設になるので、より賑わいを創出する拠点施設を整備していただきたい。

重点施策3) 来訪者及び市民にも訴求する浦添市の情報発信の強化

4つの関連プロジェクトのうち、「B評価」以上が3つと順調に進行しているとみられる。短期的に取り組める施策であるため、引き続き取り組んでいただきたい。

重点施策4) 受け入れ施設の整備・充実

4つの関連プロジェクトのうち、「B評価」が3つ、「C評価」が1つとなっており概ね順調に進行しているとみられるが、「既存施設の効果的かつ柔軟な利活用」については、浦添城跡周辺地域で歴史ガイドを活用した稼げる仕組みづくりが必要であると考ええる。

重点施策5) 官民による観光まちづくり推進体制の構築

6つの関連プロジェクトのうち、「A評価」が1つ、「B評価」が3つ、「C評価」が1つ、「D評価」が1つとなっており、一部は進捗がみられないとなっている。中長期的に取り組む施策とはなるが、(一社)浦添市観光協会のDMO法人化へ向けた取り組みを推進していただきたい。また、市内事業者から提案・公募による事業立案ができる体制を構築し、観光協会には提案のサポートを行ってもらうことも検討していただきたい。

重点施策6) マーケティング情報のフィードバックの仕組みづくり

3つの関連プロジェクトのうち、「D評価」が1つ、「B評価」が2つと他の重点施策と比較すると、「D評価」が目立つ結果となった。市場調査を行うこととされているが新型コロナ

ナウウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響から観光客が激減し、調査を延期するとしたことは理解できる。しかし、今後の情勢を見据えた実態やニーズの把握方法は今後の課題と考える。

進捗評価の体制について

本計画に関しては、施策ごとに推進していくこととされているが、「誰がやるか」が明確ではない。そのため、施策ごとにカウンターパートを設定することで関連事業者や団体、市民などが掘り起こされ、今後の施策推進に寄与するものとする。さらに、施策の質的評価を行うため、本審議会場で重点施策の担当部署や担当事業者によるヒアリングやプレゼンテーションを実施することで実のある評価となるものとする。

2. 浦添市観光支援・復興計画（仮）の策定について

浦添市観光振興計画は、令和2年度（2020年度）までを前期計画期間と定め、観光客実態調査を行い計画の中間見直しを図ることとされていた。しかし、周知のとおり新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の猛威により観光産業は多大な影響を受け、国外のみならず県外の観光客数も激減している状況である。その環境下のなか、観光客実態調査を行うことは正確な調査結果が得られないことが想定されるため、調査を含め計画の中間見直しは現実的ではないと考える。

そこで、令和3年度（2021年度）から令和4年度（2022年度）においては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）蔓延、回復期において取り組むべきことを示す浦添市観光支援・復興計画（仮）の策定に取り組んでいただきたい。（図1参照）

また、本審議会において観光支援・復興計画（仮）の議論をすすめるうえで、感染症対策を含めた観光危機管理や安心・安全の観光地づくり、学校教育における観光施策にかかわる議論も重要となることから、本審議会委員に医療関係・教育関係の委員を追加することも併せて検討いただきたい。

そして、沖縄県や近隣市町村の施策とも足並みを揃えることで相乗効果を生み出すため、今後の沖縄県や那覇市などの観光方針とも整合性がとれるような計画としていただきたい。

(図 1)

支援・復興計画期間の設定について（案）

年度	2018年度	2019年度	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2025年度 (R9)
各種計画	第四次浦添市総合計画・基本構想 後期基本計画 (H28～)			第五次浦添市総合計画・基本構想 (2021～2030) 前期基本計画 (2021～2025)						
	浦添市まち・ひと・しごと 創生総合戦略 (H28～)			浦添市まち・ひと・しごと 創生総合戦略 (2021～2025)						
	浦添市産業振興ビジョン									
	浦添市観光振興計画									
	前期計画 (3年)			後期計画 (5年)						
	前期計画 (3年)			支援・復興計画 (2年)		後期計画 (3年)				
予定		・モノレール4駅開業 ・サンエーパルコ開業		・観光復興計画の策定 ・観光振興実態調査の実施	・港川地区リゾートホテル開発	・浦添前田駅観光交流拠点施設供用開始 ・後期計画期間スタート				・てたと浦西駅周辺商業施設竣工

さいごに

未だ終息のみえない新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により今後も観光産業への影響は多大にあるものと考えます。しかし、浦添市は浦添前田駅周辺賑わい交流施設の整備計画やキャンプキンザー跡地の開発、大型ホテルの開業などを控えており、ポテンシャルを大きく秘めた地域でもある。

そのポテンシャルを活かすべく本観光振興計画の推進及び新型コロナウイルス感染症（COVID-19）蔓延、回復期における観光支援・復興計画（仮）を策定し、観光施策の推進を行うことで、今後の浦添市の更なる発展に寄与できるものとなるため、本答申を踏まえ検討・推進していただきたい。